



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	クリオ横浜本牧 新築工事	階数	地上7F
建設地	神奈川県横浜市中区本牧町一丁目96番	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、1種住居地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	198 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 竣工	評価の実施日	2017年11月13日
敷地面積	1,566 m ²	作成者	株式会社いしばし設計
建築面積	1,063 m ²	確認日	2017年11月13日
延床面積	5,403 m ²	確認者	株式会社いしばし設計

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8 **LR のスコア = 3.4**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア = 3.3	Q2のスコア = 2.9	Q3のスコア = 2.1
音環境: 3.0, 温熱環境: 3.7, 光・視環境: 2.9, 空気質環境: 3.6	機能性: 3.0, 耐用性・信頼性: 2.9, 対応性・更新性: 2.7	生物環境: 2.0, まちなみ・景観: 2.0, 地域性・アメニティ: 2.5
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 4.1	LR2のスコア = 2.7	LR3のスコア = 3.3
建物外皮の熱負荷: 4.0, 自然エネルギー: 3.0, 設備システム効率化: 4.8, 効率的運用: 3.0	水資源保護: 3.0, 非再生材料の使用削減: 2.6, 汚染物質回避: 3.0	地球温暖化への配慮: 4.1, 地域環境への配慮: 2.9, 周辺環境への配慮: 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
住宅性能評価を受け、省エネ性能、建物の耐久性、空気環境、高度通信インフラ、設備の維持管理に配慮を行い、バランスある共同住宅を計画している	特になし
Q1 室内環境 F☆☆☆☆を全面的に採用	Q3 室外環境 (敷地内) 植栽により良好な景観を形成
LR1 エネルギー BEI=0.86としている。	LR3 敷地外環境 緑化により敷地外への熱的な影響を低減させている 高効率給湯器採用
Q2 サービス性能 100Mbitクラスのブロードバンド回線 住宅性能評価 3-1劣化対策等級3	
LR2 資源・マテリアル 内装下地にLGS下地を採用	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



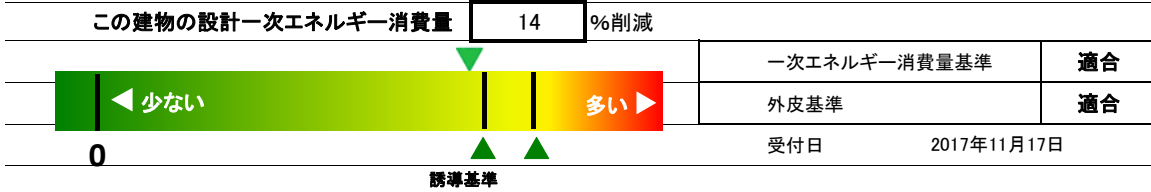
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **クリオ横浜本牧 新築工事**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **3**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①断熱等性能等級4

③高効率給湯器採用

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **4**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当)

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥F☆☆☆☆を全面的に採用

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

⑱外構緑化指数57.53%

⑲植栽により良好な景観を形成

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入